

■ 著者紹介

白川 俊介（しらかわ しゅんすけ）

1983年生まれ。関西学院大学総合政策学部准教授。九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程修了。博士（比較社会文化）。

主な著書に『ナショナリズムの力——多文化共生世界の構想』（勁草書房、2012年）、『デモクラシーとセキュリティ——グローバル化時代の政治を問い直す』（共著、法律文化社、2018年）。主な訳書に『政治哲学の魅力』（ロバート・タリース著、関西学院大学出版会、2018年）、『領土の政治理論』（マーガレット・ムーア著、法政大学出版会、2020年）。